



〒954-0052

見附市学校町 2 - 7 - 9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和3年7月19日 NO.4

(写真は7月8日撮影)

今町小学校：玄関前の池の蓮



多くの可能性を秘めた、大きな『うねり』

嘱託指導主事 磯部 徹

『師がく』の担当をして3年目。それ以前と授業が様変わりしてきましたが、その変化の中に大きな可能性を感じています。

その変化の一つが「学習課題の提示」です。これは「主体的・対話的で深い学び」実現への『肝』と考えますが、先生方は、子どもたちの「調べたい!」「なぜ?」「知りたい!」の思いに火を付けるべく、様々な工夫を凝らしています。子どもたちと対話しながら、「じゃあ、今日の2重丸(◎)は○○○でいいですか?」というふうにして、課題への興味関心を高めている先生もいらっしゃいます。

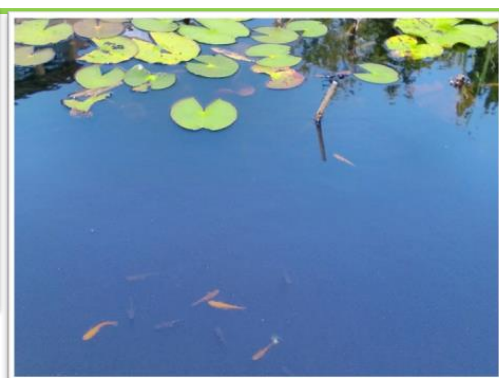
子どもたちの課題解決への意欲が十分に高まったところで、解決への見通しや手順を示したり、解決の方法を個々の子どもに選択させたり、あるいは対話場面を設定するなどしながら、課題解決に主体的に取り組む子どもの姿を実現しています。

大きな変化のもう一つは、Chromebookの活用です。A先生は、特別支援学級の算数の適用問題を解かせる場面で、これを活用しました。黒板やプリントを使っていた学習場面ではやや落ち着きに欠けていた子も

この場面では集中し、自分のペースで熱心に問題を解いていました。B先生は国語の授業で、子どもが書いた慣用句・ことわざを使った文を仲間に紹介する場面で、活用しました。子どもたちは、全員の例文を画面上で確認しながら、感想や気づいたことを付箋機能を使って打ち込んでいました。

話は変わりますが、かつての英語教育を思い出します。「聞く・話す」の指導の重要性が強く叫ばれ始めた頃、私も様々なコミュニケーション活動に真剣に取り組みました。ところがその時期、全国的に「書く力」が大きく落ち込んだのです。「聞く・話す」のコミュニケーション活動が目的化し「読む・書く・聞く・話す」のバランスを欠いた指導に陥っていたのは、私だけではなかったようです。

時代のうねりとも言える対話的学び等やChromebookの活用は、子どもたちの成長に多くの可能性を秘めてはいますが、これらは手段や道具であり目的ではありません。本時の授業のねらいをよりよく達成したり、確かな学びを実現したりするのに有効かどうかを十分に吟味しつつ、様々な指導法や活用法の工夫・開発をお願いします。



巻頭写真に寄せて

「トンボ飛ばないの。どうして？」



◇6月末に今町小の訪問があり、午前

に二年生の音楽授業を参観した。楽しさに満ちた歌声や自分で作った2小節の旋律の演奏発表に感動の一時間であった。このとき、人一倍元気でやっていたが、他の子どもとの関わりで、ちょっと気になったFさんがいた。そのFさんが昼休み、玄関前に見えた。松の木の所で何かしているのので、近づく、「トンボ飛ばないの。どうして？」と尋ねてきた。「どうしてだろうね？」と答える私に、「わかった！羽のここが曲がっているからだよ。」と言う。「そうだね。羽が治るまで飛ばないので、ここに置いてあげようね。」と言うと、「うん」と言って、捕まえた場所に置いて、他に行ってしまった。優しい子どもである。さて、松の木の脇に池がある。いつも駐車場からフラワーロードを通って玄関へ直行で、池があることに気付かなかった。蓮が植えられており、小さい葉の周りをメダカが泳いでいた。(上写真右)「蓮の花が綺麗に咲いたら、蓮とメダカの写真を」と思っていたが、7月に入って訪問日が晴天にはならず、曇天で周りの木々が水面に映り、メダカが写らない。しかし、白い花が強調されてこれも美しい。(巻頭写真)白い花ばかりでなく、紫の花もあり今盛りに咲いている。学期末、忙しい毎日であるが、職員も子どもたちも、保護者も地域の方にも、池の蓮とメダカを見て頂きたいものである。

コラム 新潟小学校から『指出の浄恩寺』を見る

◇『師がく』で、新潟小学校の訪問をした。「授業だけでなく、子どもたちの生活の様子も見たい。」という私の要望に、高田校長は「給食を子どもたちと食べますか？」と言って下さり5年生と食べた。5年生の教室へ行くと、まだ準備中で、当番以外の子どもは自席に読書で待っていた。隣席のSさんは『自然災害』という本を読んでいた。感心をして「難しそうな本を読んでいるね。」と声をかけると、「大丈夫です。僕の家はお寺。廊下から見えるあそこ。」と教えてくれた。3階廊下からの眺めは最高。夏の日差しを受け、青々と成長する稲穂の向こうに集落(指出)が見え、中央に大きく見える家が浄恩寺。(写真は小さいが、実際は拡大の楕円のように見えた。)私は他市に住んでい



るが、家が同じ宗派のお寺の檀家ということもあり、浄恩寺十七世住職、曾我量深を以前から知っている。親鸞教学を確立した仏教思想家で、大谷大学学長をやられた人である。県内大学の学長を県人がやるのは珍しいことではないが、有名大学で学長をやられたのは、この曾我量深氏に、東洋大学を創設した井上円了氏。そして、前文化庁長官で、東京芸術大学の学長をやられた宮田亮平氏ぐらいしか浮かばない。Sさんのお陰で、浄恩寺を身近に感じられるとともに、実に素晴らしい景色を見ることが出来た。(こ)

4時から夢塾 「どんな実践をしてきましたか？」

第3回は6月10日(木)に、中越教育事務所の川田昌宏 指導主事から「小学校の学びを中学校に生かす英語の授業改善」をテーマにして指導を頂いた。講座内容を簡単に紹介する。

1 はじめに ～小学校の学びを中学校に生かすために～

・「どんな実践をしてきましたか。それは無理なく出来ましたか。そして、どのような成果がありましたか。」の問いかけで始まった。

2 小中連携の在り方 ～①②③の出来る所から始めませんか～

① 指導目標の連携 「小・中・高で一貫した目標の実現を図ること」

・各段階の領域別の目標を比較して、何を身に付けさせるかを理解させることが重要。

② 指導内容の連携 「言語活動において繰り返し活用し、定着を図ること」

・小で学んだ学習の中では、小とは異なる場面で使ったり別の意味で活用したりする。

③ 小中の教員の連携 「学びを確かなものにするために、小中の教員の連携が必要」

・目標や内容について、意見交換や授業参観等を行って理解を深めることが重要。

3 見方・考え方とは ～外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方～

・外国語で表現し伝え合うために、外国語や背景にある文化、社会や世界等に着目して捉え、その目的や場面、状況等で情報を整理しながら考えを形成し再構築すること。

4 指導方法の連携例 ～帯活動～

・帯活動の基本的な位置付けは、授業内の一定期間。授業の一定の時間帯で行う活動。

・目的は1度目の出会いをスムーズに。2度目3度目の出会いをするため等である。

・教師の役割は、良い生徒を褒め、ミスの生徒を直して困っている生徒を助けること。

5 他者・自己評価 ～気付きの促し～

・児童生徒が学習を自分事と捉え、自分自身で学習改善を行えるように促していく。

6 学習評価に関する2つの用語 「形成的評価と総括的評価」

・評価と聞き、観点別評価や5段階評定、通知表や指導要録のみを想定していないか。

・形成的評価・学習者の学習状況を把握し、修正の必要な部分を即座に把握するため。

・総括的評価・指導した内容を基に、どの程度学習内容が身に付いたか判断するため。

・形成的評価は日常的な営みで行い、児童生徒との対話から良さを価値付けてあげる。

・学年末に評価を総括し、指導要録に記載する際に全ての評価情報が揃っていること。



<参加者の声>

- ・小中連携は、指導目標や内容を連携することから行えばよいことを教えてもらった。
- ・小中連携は、確かな学力の定着につながっていくという点を改めて実感できた。
- ・身に付いてからの評価という視点に留意したい。新学習指導要領の学びが深まった。
- ・小学校との連携のためには、まず小学校の教科書を十分に学ぶ必要を感じた。
- ・生徒が目標(内容)を達成するために、日々の授業で生徒の見取りを大切にしていく。

4時から夢塾 「中2理科『人の体』の授業を通して」

第4回を7月2日(金)、見附中学校の早田浩延先生から、授業公開とミニ講座で GIGA スクールの指導を頂いた。簡単に示す。



1 「人の体」の授業

- ① 復習・植物はどんな器官がある？茎(水の通り道)、葉(光合成)、おしべ(花粉)等
 - ② 今日の課題・「人の体の器官について説明できる」
- Jamboard で器官を整理する。(各班で考える)→他の班の考えを見る。
 - 具体的に体の中の器官を見る。スプレッドシート(エクセル)で器官を並び替える。
 - ・個人でやる。→その後、班で確認する。→解答合わせをする。
 - ・方向づけをする。→消化器系を確かめる。なぜここに肝臓がある？
 - ・ワークシートを記入する。(器官を調べてシートに貼りつける。)
 - ・ドキュメント(ワード)でまとめさせ、発表をする。
 - ・動物と植物のつくりとはたらきについて調べる。
 - 最終課題(やりたいことや知りたいことなど)を書いてカメラで撮影し、提出する。



2 ミニ講座・5種類の活用方法を、実際に Chromebook を使って指導を頂く。

- ① 自然の事物・現象を写真や動画で撮影→一人一台端末の有効な点は記録に残せる。
- ② 学習内容に活かせるようなアプリの活用→様々なアプリが開発されている。
 - ・天体には Chromebook にも導入できる「星座表」というアプリがおすすめ。
- ③ Classroom で共有や評価に生かす→課題を配信し、全員の意見を集め評価できる。
- ④ 撮影した画像の活用→例えば、校庭の雨水マップや植物マップを作成できる。
 - ・活用例: 6年ものの燃え方と空気→実験を撮影し分かったことを書き入れ説明する。
- ⑤ オクリンクを活用(中学校のみ)→活用例: 天気図を送付して時系列に並び替える。



<参加者の声>

- ・実践と関連づけた具体的活用例が聞けて、とても参考になった。
- ・教師も生徒もタブレットを使いこなしていて凄い。自校も活用しなければと思った。
- ・Chromebook を使うことで、主体的に協同的に学習できる可能性を示してもらった。
- ・できそうな活用方法が多く参考になった。Jamboard もアプリも使ってみようと思う。
- ・Jamboard を使い自分の考えを入れていた。班で画面を見ながら自然と交流していた。
- ・多くの機能を使う場面を取り入れて頂き、たくさん学ぶものがあり、参考になった。

7月

科学教育部



《今月の1枚》 アサガオ

【野外「地層観察・川の観察」研修案内】

見附市では、いくつか特徴的な露頭（地層が地上で観察できる場所）を観察することができます。また、見附市を流れる刈谷川は過去に氾濫を繰り返し、今はほとんどの場所で護岸工事がされています。6月号でも紹介しましたが、一部河原に降りて観察可能な場所もあります。8月19日（木）に行う野外研修会では特徴的な地層と、河原に降りての観察を計画しています。観察予定の地層について、簡単に紹介しますので興味がある方は、ぜひ研修会にもご参加ください。

【小栗山の地層】



新潟小学校区の小栗山町の奥にある中部北陸自然歩道沿いに見ることができます。ここでは正断層を観察でき大地を引っ張る力が働いて、すべり落ちてできたものです。この正断層からさらに奥に進むと礫（れき）が入り込んだ互層を見ることができます。

【椿沢の地層】



田井小学校区の椿沢町にある砂岩と泥岩の互層です。この層を切り開いて道ができていたため、地層同士のつながりを体感することができます。

【北谷公民館付近の地層】



北谷公民館のすぐそばに泥や砂を主体とした地層を見ることができます。基底には礫（れき）層も見られます。上部にはローム層も観察できます。

【夏休み作品展・科学研究発表会を開催します】

9月25日、26日に夏休み作品展、10月6日に科学研究発表会を開催します。例年、夏休み作品展では、各校から工夫を凝らした展示物やアイデアあふれる道具、昆虫標本などが出品されています。科学研究発表会では全体会を行わないなど、感染症対策をした上で中央公民館を会場にして実施します。詳しくは各校に要項を配付しています。科学に触れる充実した夏休みになるようにご指導よろしくお願いいたします。



第57回 見附市児童生徒 科学研究発表会

自由研究は
楽しいよ!!



身近なところ
に不思議が
いっぱい!!

大発見が
あるかもしれ
ないぞ!!!

観察や実験
で、確かめて
みよう!!

〈小学校の部門〉

低学
年 中学
年 高学
年

〈中学校の部門〉

物理 生物
化学 地学

<日時>

令和3年10月6日(水)
14:05~

<会場>

見附市中央公民館

主催: 見附市教育委員会

①テーマ設定をしよう

まずはテーマ設定が大切になります。自然の中や、授業で学んだこと、生活の中にある素朴な疑問が出発点です。「どうしてだろう?」と興味をもったことについて研究できると良いでしょう。

②調べ方(観察や実験)を考えよう

テーマを基に明らかにしたいことを考え、解決するための方法を考えます。データを正確に集め、再現性がある実験を計画しましょう。

③観察や実験で調べてみよう

調べたい条件を揃えて、比較していきましょう。実験ならば繰り返し行い、観察は毎日続けましょう。新たに疑問に思ったことがあれば、それについても追究できると良いでしょう。

④研究結果をまとめよう

表やグラフ、図を使って、読む人がわかるようにまとめましょう。「研究の動機」→「研究の方法」→「観察・実験」→「結果」→「明らかになったこと・まとめ」の流れで研究を形にしましょう。

令和3年度 見附市児童生徒 夏休み作品展



発明
工夫 工作 標本 観察
記録

入 場 無 料

<日時>

令和3年9月25日(土)~26日(日)
9:30~16:30

<会場>

まちの駅「ネーブルみつけ」多目的広場

主催: 見附市教育委員会 見附市教育センター

見附市立小中・特別支援学校校長会

【発明工夫】

○便利なものや飾り、おもちゃなどを作成

【工作】

○身近なものを使って動物などの模型を作成

【標本】

○昆虫や植物、貝などの標本を作成

【観察記録】

○植物などの観察記録を夏休みの成果を作成

例年、さまざまな作品が出品され多数の方々が来場されます。児童・生徒が工夫を凝らした作品になるようにご指導ください。多数の作品を楽しみにしています。

科学の公園

GIGA スクール～「Jamboard」「スプレッドシート」の活用～

7月2日に「4時から夢塾」の理科で参観者の方から、「Jamboard」を使ってみたいという声がたくさん上がりました。そこで理科だけでなくさまざまな授業で使えるような使い方を紹介します。また、「スプレッドシート」も非常に有効なアプリケーションです。

【Jamboard】

○図や写真、書いた文字などを自由に動かせます。フレイニング等に非常に有効です。最初から入っているアプリケーションなので、誰でもすぐに使えます！

3班 ヒト（個体）の体にある器官を協力して書き出そう

中		外	
胃	肺	手	口
小腸	肝臓	耳	鼻
大腸	血管	目	足
腎臓	筋肉	皮膚	
脾臓	心臓		
脳みそ			

- ①実際の授業で生徒たちがグループで協力して「体の器官」を自由に書きだしました。
- ②書き出したあとに体の中にある器官と体の外にある器官に分類しました。
- ③その後、他のグループの「Jamboard」を閲覧させました。

燃える？			燃えない？		

こちらも生徒が分類しました。グループで協力するだけでなく、個人で分類させ画面を見せあいながら話し合いをするのもありですね。

【スプレッドシート】

○エクセルと基本的な使い方は同じです。今まで黒板にまとめていた実験結果を各班に入力してもらうことで全体共有できます。

水溶液に電流が流れたか確認しよう

	蒸留水	砂糖水	食塩水	塩酸	エタノール水溶液	塩化銅水溶液	水酸化ナトリウム水溶液	実験メモ
1班	×		○	○				塩酸では気体が発生して、塩酸のにおいがする
2班								
3班								
4班			○	○				
5班					×			
6班	×							
7班						○		塩化銅では一層で銅みたいなのが出てきた
8班							○	
9班								

溶かした物質は電解質か非電解質か

実験をした結果をその都度入力していけば、他の班との結果の違いから再実験行うこともできます。他の教科でも意見や考えを整理する際に活用できます。教師は枠だけ作成し、Classroomで「子どもが編集可能」にして配付するだけです。